

6月は環境月間です



高山植物が咲きみだれる森吉山（山人平）

6月5日は「環境の日」です。これは、1972年6月5日からスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。これを受けて日本では、1991年からは6月を「環境月間」と定めて、全国各地で環境に関する行事や啓発事業等を行ってきました。北秋田市でも、今からはプラスチックごみのリサイクル回収を始めなど、環境に配慮した取り組みを開始しますが、これを機に、市民一人一人が環境のことを考えて、今までのライフスタイルを振り返ってみませんか？

今回は身近な環境問題として、ごみ・リサイクル問題や野焼きの問題について取り上げます。

6月1日から、プラスチックごみのリサイクル回収が始まります

※旧町別指定日の日程

鷹巣地区	燃やせない（プラ）の日
合川地区	プラリサイクルの日
森吉地区	プラスチックリサイクルの日
阿仁地区	その他の不燃ごみの日

ごみは朝7時30分までに集積所へ出してください！

最近、ごみ集積所へのごみ出しの約束時間を守らずにごみを出しているケースが増えています。中には、ごみ収集車をごみを収集した後に、ごみ集積所に出されているケースも確認されています。効率的なごみ収集業務に支障を来たしますのでご注意ください。

ダメ、絶対!! ごみの野焼き

ごみの野焼きは処罰の対象です

最近、野外焼却「野焼き」に関する苦情（相談）が多く寄せられています。ごみを燃やすと臭いが洗濯物についてしまったり、悪臭により気分が悪くなったり、煙が部屋に入るので窓が開けられず、また、ぜん息の方には大変辛いものもあります。

なお塩素を含むごみを野焼きすると、ダイオキシン類が発生します。ダイオキシン類は、人類が作り出す化学物質の中で最も危険な毒物であると言われ、自然に分解されにくく、微量でも人体に摂取されると、発ガン性や子孫への催奇形性などを高める可能性があります。ごみがあるとされています。

ごみを燃やした時など、自然に発生してしまふ物質ですが、大気に放出されたり、灰として残留したりした後に、自然循環し、生物の体内に濃縮され、人間の体内には食物によって蓄積されてしまうことが多いようです。特に、ダイオキシン類は、水に溶けにくく、油には溶けやすいことから、人体に入り込むとなかなか分解されず、長い間体内に残留する可能性が高いようです。このようなことから、生活環境や人体の影響を考え、安易に焼却せず、定められた処理をしてください。

主なプラスチック製容器包装



このマークのついたものが対象です



- トレイ・パック類
 - ・総菜等のトレイ
 - ・卵、豆腐等のパック
 - ・コンビニ弁当等の容器



- カップ類
 - ・カップ麺の容器
 - ・プリン、ゼリー等の容器
 - ・アイスクリーム等の容器



- ボトル類
 - ・食用油、調味料等の容器
 - ・シャンプー、洗剤等の容器
 - ・コンビニ弁当等の容器



- ポリ袋・ラップ類
 - ・菓子、パン、冷凍食品等の袋
 - ・スーパー等のレジ袋
 - ・菓子箱等の包装フィルム



- その他
 - ・びんやペットボトル等のプラスチック製のふた
 - ・ミカンやタマネギのネット
 - ・発泡スチロール等の緩衝材



野焼きはダイオキシン類などの有害物質を発生させるため絶対にやめましょう

- 【例外的に認められている「野焼き」】
 - ・落ち葉等のたき火その他日常生活を営む上で通常行われる軽微な焼却
 - （例）キャンプファイヤーなどを行う際の落ち葉、木くず等の焼却
 - ・農林漁業を行ううえでやむを得ない焼却
 - （例）農業者が行う期間を定めた稲わらの焼却（秋田県公害防止条例施行規則）
 - （例）林業者が行う伐採した枝等の焼却
 - （例）漁業者が行う魚網に付着した海産物の焼却
 - ・風俗慣習上又は宗教上の行事を行ううえで必要な焼却
 - （例）どんと焼き等の地域の行事における不要になった門松、しめ縄等の焼却

*例外に当てはまる野焼きをする場合でも、周囲への生活環境には十分な配慮が必要となります。

地球温暖化の怖さを

あなたは知っていますか？

環境あきたエコマイスター事業（出前講座）

日時	6月29日（木）13:30
場所	北秋田市文化会館
講師	秋田県生活環境文化部長環境あきた創造課（環境の達人）
内容	DVD上映・講話 「知ろう、学ぼう、考えよう、地球温暖化」
主催	鷹巣婦人団体連絡協議会